SDTrans384 取扱説明書

第 1.03 版

使い方

　SDTrans384 の結線図を示します。配線は電源と S/PDIF ケーブルを接続するだけです。

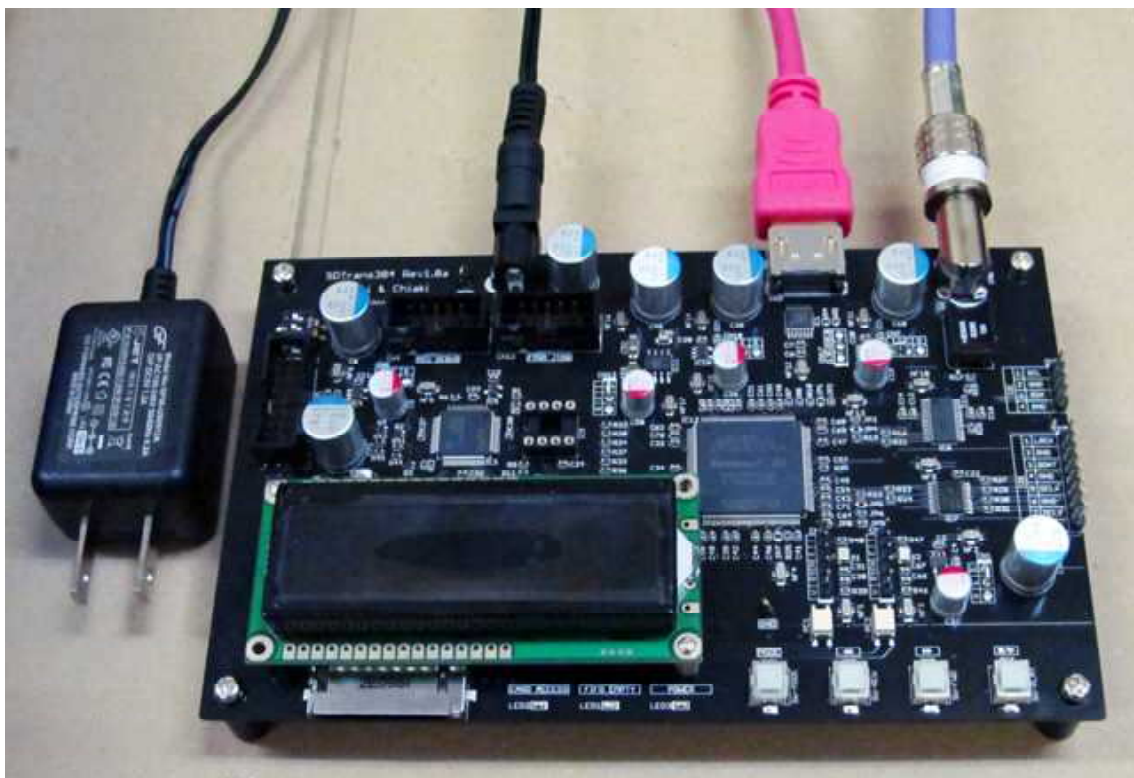
AC アダプタのプラグを背面左の黒い端子に、S/PDIF(BNC)ケーブルを右側の端子に接続

1.付属の AC アダプタを背面の AC コネクタに差し込みます。

2.BNC 端子に BNC ケーブルを接続します。BNC ケーブルのもう一方は DAC の S/PDIF 入力に接続します。

3.音楽ファイル(WAV)が入った SD カードを前面の SD カードスロットに入れます。

4.PLAY ボタンを押すと再生が始まります。

DSD(または PCM)再生をしたい場合は HDMI 端子に HDMI ケーブルを接続します。DSD 再生につきましては「技術マニュアル」を参照の上、DSD 対応 DAC に接続してお使い下さい。

DSD(PCM)再生時は HDMI ケーブル(ピンク色のケーブル)で接続

ボタン操作

　基板前面に 4 つのボタンがあり、これで操作を行います。

PLAY : 音楽を再生／停止します

FORWARD : 曲名が表示されているとき次の曲に移動します。
　フォルダー名が表示されているときは次のフォルダーに移動します。

REWIND : 曲名が表示されているとき前の曲に移動します。
　フォルダー名が表示されているときは前のフォルダーに移動します。

MODE : フォルダー名表示、曲名表示、リピート再生モードを切り換えます。

SD カードの取扱い

SD カードは SD カードスロットに奥まで差し込むとセットされます。再生を停止した状態で、もう一度押し込むと出てきますので他の SD カードに差し替えられます。

SD カードに記録した音楽ファイルが SDTrans384 でサポートしていない形式だった場合、または、音楽ファイルが壊れていた場合など、正常に再生できない状態になっていると、SD カードを差し込んだときにエラーが表示されることがあります。

SD カードに音楽ファイルを書き込む方法

SD カードをパソコンに接続すると、パソコンから外部ディスクとして見えるようになります。基本的な書き込み方法は、その外部ディスクにフォルダを作り、その中に音楽ファイルをコピーします。

たとえば、ビートルズのアビーロードの CD から取り込んだ WAV ファイルを入れるには、まず SD カードのルートディレクトリに「The Beatles - Abbey Road」という名前のフォルダを作り、その中に各曲の音楽ファイルをコピーします。SDTrans384 の表示パネルには日本語やカタカナは表示できませんので、フォルダや曲名は全て英数半角文字で入力します。PCM ファイルの拡張子は".wav"、DSD ファイルの拡張子は".dff"です。これ以外の形式のファイルを入れると SDTrans384 は正しく認識しないかエラーになります。

音楽ファイルをコピーし終わった SD カードは SDTrans384 で再生できます。

使用上の注意

SDTrans384 の仕様上、電源電圧は± 5%を超えないように規定されています。付属の AC アダプタは 5V(センタープラス)になっていますが、電池などを使用する場合、電源電圧が許容電圧を超える場合があります。許容電圧範囲を超えた場合、SDTrans384 に使用されている電解コンデンサの耐圧を超えてしまい壊れる可能性があります。使用前に電源電圧を確認してから接続するようにして下さい。

付属の AC アダプタはオーディオ用ではなく一般品です。動作確認用としてお使い下さい。音質優先で使用するときはオーディオ用電源を使用することをお勧めします。

FAT32 フォーマッタ

　SDTrans384 で使用できる SD カードは SD(8M ～ 2GB)、SDHC(4G ～ 32GB)ですが、SDXC(64GB 以上)カードでも 64GB 以上の SD カードでも FAT32 フォーマットができる場合、SDTrans384 で動作する可能性があります(SDXC カードは標準で exFAT フォーマットされていますのでそのままでは SDTrans384 で動きません)。

　SDXC 64GB カードを FAT32 フォーマットするソフト(Windows 対応)は付録 CD の「 HP USB Disk Storage Formatter 」ディレクトリに入っています。

UMS Sort

　SD カードに音楽ファイルをコピーした後、不要なファイルを消したり、聞きたい音楽を後から追加でコピーしたりしているとファイルの並びが不規則になることがあります。SDTrans384 は SD カードの FAT32 テーブルに記録された順番に再生しますが、この順番を簡単に変更したりアルファベット順に並び替えたりできると便利です。UMS　Sort というソフトを使うとこの作業が楽にできます。この Windows 用ソフトは付録 CD の「 UMS　Sort 」ディレクトリに入っています。